

マチに学び都市を楽しむ / まちづくりNPO

特定非営利活動法人 もうひとつの旅クラブ

2007年度(第6期)事業報告書

1. 旅クラブが2007年度に取り組んだ事業実績

2007年度は、「大阪まち遊学」の実施を中心に、まち歩きによる旅人の視点でのまちの魅力の発掘・発信について検討を行った。その調査の一環として長崎への視察も行った。また、昨年に引き続き「ご来光カフェ」を実施するとともに、水都大阪再生に関する調査業務を受託するなど、中之島を中心に川の魅力を活かす提案型の活動を行った。これらのことから公的機関や関西を代表する企業との連携がさらに強化され、知恵と汗を併せ持つNPOとしてのプレゼンスがより一層高められた。さらに、今年度からの新規事業として「もうひとつの旅談義」も開始し、有識者との意見交換を通じた交流活動も行った。

以下が本年度の主な事業項目一覧である。

- (1) 大阪における舟運を活用した水辺のまちづくりに関する調査・企画検討
- (2) 「ご来光カフェ」中之島物語～その魅力と未力
- (3) 「大阪まち遊学」の企画・実施
- (4) 長崎さるく視察合宿
- (5) 「もうひとつの旅談義」の企画・実施
- (6) 情報提供、提言活動事業

これら事業の詳細や組織内評価分析を以下に報告する。

(1) 大阪における舟運を活用した水辺のまちづくりに関する調査・企画検討

【事業趣旨・目的】

大阪においては「花と緑・光と水懇話会」や「水の都大阪再生協議会」などにより大阪のまちづくりへの取組み・検討が進められており、中でも「水都大阪」を核とした都市活性化の諸活動の取組みが進められている。上記を踏まえ、今後の中之島地域をはじめとする「水都大阪」の豊かな水辺空間を活かしたまちづくりの実現に向けた調査・企画検討を行うことにより、大阪の水都再生・地域活性化に資することを目的とした。

【事業内容】

- ・ 期 間：2006年12月～2007年2月
- ・ 対象エリア：中之島地域他
- ・ 委託者：関西電力株式会社地域共生・広報室都市再生チーム
- ・ 内 容： 大阪の舟運に関する現状整理
舟運の活性化に関する企画・提案

【事業成果】

現状整理においては、大阪舟運事業者が現在提供している舟運ルートメニューを網羅的に整理

したが、大阪で船に乗ってみたいと思ったときに旅人がその情報を一覧できる情報窓口がないことが明らかになった。また他の都市では実現できない個性的な都市体験を提供するための仕掛けづくりや大阪の舟運のノウハウと河川ネットワークのソフト・ハードにわたる資産を基礎に、そのポテンシャルを最大化させ、新規の舟運ルートやアイデアにあふれた活用を開発し、それを資産として「水都大阪」というインパクトをより強固なものしていくことの必要性が認識された。

そこで、舟運の活性化に関する企画・提案として、大阪都心部に存在する河川及び大阪湾近海をめぐる舟運ルート及び舟運事業商品の総称並びにネットワークの呼称として「大阪シティクルーズ」という新たな共通ブランドの創出、並びに、このブランドのもとに提供する各舟運事業関連サービスを日本国内外に広く普及、発展させ、世界に誇る水の都を大阪の地に創造していくための推進組織設立の具体的フレームを提案した。

この提案を元に舟運事業者らとともに協議を重ねた結果、2007年10月25日に大阪の舟運事業者8社を正会員に、その他鉄道マスコミ等の事業者を準会員とする「大阪シティクルーズ推進協議会」が発足するに至った。

■ 共通ブランド創出に係る推進組織設立スケジュール例

	○月													
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	
			舟運祭り等との調整								舟運祭り等との連携			
推進体制														
推進協議会規約案作成														
当初事務局、各作業担当決定														
立上げ当初実行予算目処														
発起人メンバー決め(3社)														
趣意書作成														
正会員(他3社)呼びかけ														
賛助・協力会員呼びかけ														
H19推進協議会事業計画案作成														
役員目処														
推進協議会設立総会開催													■ 祭りにあわせ設立総会	
公式サイト作成														
サイトコンテンツ項目の設定														
各社の各社新商品、関連商品の整理														
取材、コンテンツ作成、ブログ依頼など														
WEBデザイン作業													■ サイト立上げ	
ドメイン取得、レンタルサーバー契約														
既存関係サイトへのリンク依頼														
マーク、ロゴの募集														
応募要綱の作成														
応募の広報、ロコミの事前依頼														
応募期間														
審査、グランプリ決定														
シール、フラッグの作成														
グランプリ入賞者発表、授賞式													■ 授賞式	
プレスリリース														
プレスリリース														
メディア取材誘致(大阪・全国)														

(2) 「ご来光カフェ」 中之島物語～その魅力と未力

【事業趣旨・目的】

市民共有の資産である「中之島の水辺」を舞台に「都心の自然」という魅力の発掘を行い、水辺という公共的空間の過ごし方、使い方を多様な側面から提案し、各人それぞれの「中之島時間」を発見していただくことで、実施期間後、1人でも多くの方に中之島の豊かな普段使いをしていただくことを目的とし、昨年に引き続き実施した。

【事業内容】

- ・期 間：2007年10月1日(月)～8日(月・祝)
- ・営業時間：日の出(5:50頃)～8:30
- ・場 所：大阪水上バス淀屋橋港棧橋
- ・内 容： 棧橋を装飾し、テーブル・ベンチ(営業時間後撤去・保管)を設置して朝日を眺められるカフェを営業、飲み物は200円で提供
 アクア mini によるミニクルーズの実施(7時に出航、乗船料1000円ワンドリンク付)
 ご来光の写真を自由に展示できるギャラリーの設置
 専用ホームページによるPRと営業日誌の公開
 アンケートの実施
 継続的な開催のための賛同者・スタッフの募集(ご来光クラブの結成)
- ・協 力：大阪水上バス株式会社(姉妹企画「夕陽舟」の実施を含む)



【事業成果】

天気にも恵まれ8日間雨天休業なく、6日間ご来光を眺めることができた。今年も期間中に263人(1日平均33人)の来場者があり、朝のミニクルーズには85人(1日平均11人)の乗船者があった。ホームページへのアクセスは2006カウント(8/24～10/24)であった。全体の8割が新規の来訪者であり、昨年来られた人は2割であった。開催情報は来訪者の口コミで知ったという人が最も多かった。マスコミの取材はラジオ放送1回(ラジオ関西)、テレビ放送1回(毎日放送)であった。昨年に引き続き、棧橋の活用を水都大阪の魅力資源として示すことができた。

【活動写真や告知資料】



ご来光の瞬間



朝のミニクルーズ



朝の清々しい雰囲気満喫

アンケート結果 (n = 188)

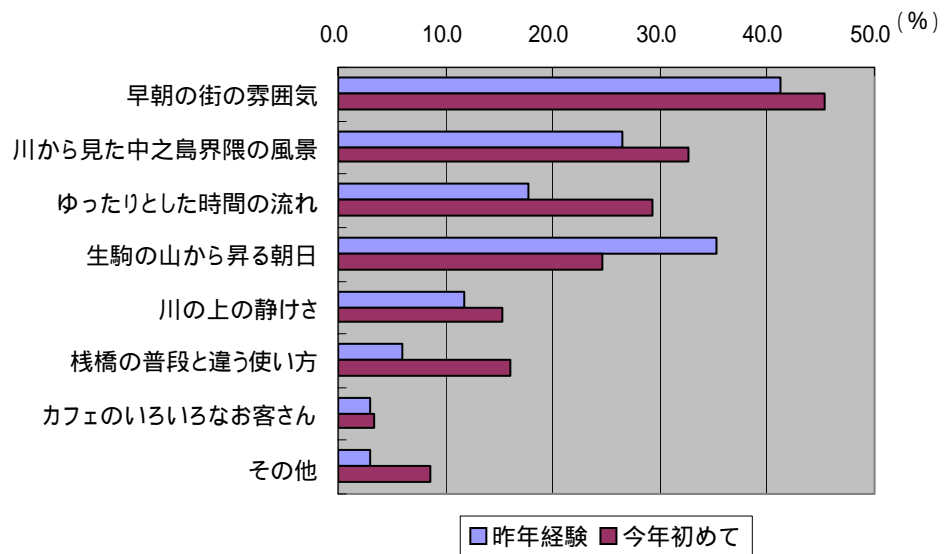


図 ご来光カフェで一番新鮮に感じられたのはどの部分ですか(経験者と初体験者の比較)

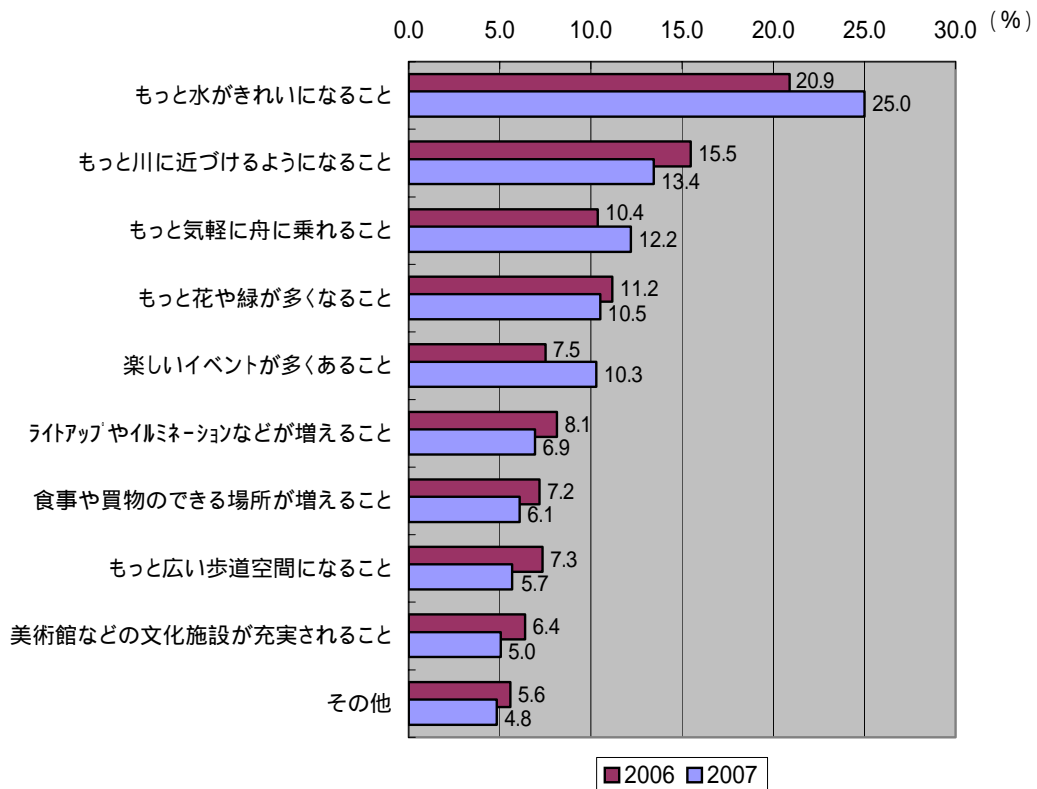


図 中之島の魅力アップのためには何が必要と思いますか(複数回答)

- ・ 来訪者は、女性が 6 割、年齢も 20 代～30 代の若い層が 7 割を占めた。大阪市内の居住者は半数にとどまり、他府県が 2 割を占め、比較的遠方から来られる人も多かった。
- ・ 来訪者の多くが、朝日を眺めるだけでなく、早朝の街の雰囲気、ゆったりと流れる時間を新鮮に体感されており、水辺の持つ多くの魅力を発見する機会が得られていた。
- ・ 中之島(公園)には散歩・ジョギングできる楽しさ、休める場所が求められていた。また、年配者を中心に美術・文化に触れたり、バラなど花を觀賞するなど文化への強い利用ニーズがある。
- ・ 昨年のご来光カフェがつきあうきっかけとなり、今年結婚して一緒に来られたカップルがあった。

(3) 大阪まち遊学の企画・実施

【事業趣旨・目的】

オープンガーデンの庭をまちに例える「オープントウン」。自分の生活するまち（居住地でも勤務地でも構わない）を、その生活をその人の視点で紹介、自慢する、オープンにする。旅人とジモティとの出会いからこそ新たなコミュニティ・旅のプログラムが生まれる。



【事業内容】

- ・ 日 程：2007年10月7日(日) 20日(土) 大正
 10月13日(土) 21日(日) 野田
 10月14日(日) 27日(土) 法円坂

【事業成果】

	日程	参加者	ジモティ×旅人
台地のでっぺん・法円坂	10/14(日)	6人	菊田さん昔と今、長屋リノベ&カステラ、よろずや
	10/27(土)	3人	長屋リノベ&カステラ、柿本立ちのみ
長屋と路地の迷宮・野田	10/13(土)	7人	路地の雰囲気、和菓子屋・駄菓子屋・貸本屋
	10/21(日)	14人	なぜか路地の上から見られている気分？
水に浮かぶ最後の楽園・大正	10/7(日)	6人	東道さん日常、タグボート船長の暮らし、古い商店街
	10/20(土)	11人	年少時の内港遊び、喫茶店マスター、水防団の誇り
合計		47人	

- ・ 比較的ディープなコース設定であったが、意外と若者の支持を得た。
- ・ 地元と参加者の間の翻訳者がいてはじめて色々な話ができる。これがウリ。安心して地元の人にいろいろ話せる環境があることが価値。
- ・ それぞれの地域の地元の方との様々なネットワークが構築できた。

【活動写真や告知資料】



地元の方に案内人として協力いただく
(法円坂コース)



毎日新聞記事(12月6日)

(4) 長崎さるく視察合宿

【事業趣旨・目的】

まち歩きの本質とその後を、さるく博が終了しセカンドステージに入った長崎において実際に体験し、市民プロデューサーと意見交換を行い、その実現のプロセスと意識の変遷を探る。

【事業内容】

- ・日程：2007年12月15日(土)～17日(月)
- ・行程：12/15 長崎さるく(東山手コース、丸山コース)
12/16 長崎港めぐり、長崎さるく(南山手コース)、市民プロデューサー(桐野氏、川良氏)と意見交換
12/17 長崎さるく(城山小学校コース)、帰阪
- ・参加者：泉、岩田、大森、岸田、福田、米谷、(会員外参加：松井(毎日新聞)、岸田家族1名)

【事業成果】

- ・感動!の一言。
- ・市民のわがまち意識醸成と観光集客は、別々のものではなく、お互いに相乗効果を生むものだということを再認識。まち歩きというツールの可能性を学んだ。

【活動写真や告知資料】



地図や絵はがきなどグッズも充実



東山手コース・オランダ坂をガイドする



丸山コース・梅園身代り天満宮



要所ではクリアブックで資料を説明



南山手コース・祈念坂



スタート技師の感動逸話を語る桐野さん



桐野さん、川良さんと意見交換



城山小学校コース

(5) もうひとつの旅談義の企画・実施

【事業趣旨・目的】

多様なテーマについて達人を招き、もうひとつの旅の新たな視点を探るとともに、交流、ネットワーク強化をはかる

【事業内容】

第1回 茶谷幸治氏（長崎さるく博プロデューサー）

『いま、なぜ「まち歩き」なのか？』

- ・日 時：2007年6月8日（金）19:00～21:00
- ・会 場：てんいちゆうゆうホール（北区天神橋）
- ・参加者：19名



第1回会場風景

第2回 橋爪紳也氏（元大阪市立大学教授、都市文化史家）

『橋爪紳也氏ともうひとつの大阪を語り合う』

- ・日 時：2007年10月13日（土）17:00～19:00
- ・会 場：名品喫茶「大大阪」（中之島ダイビル1階）
- ・参加者：約20名



第2回会場風景

【事業成果】

- ・長崎さるくの取り組みを通じて、まちあるきの本質、次世代観光の方向性、市民主体の意味などを再認識。「大阪まち遊学」の大きなヒントとなった。
- ・大阪の魅力アップのために市民が自ら行動すべき点などで多くの示唆を得た。

(6) 情報提供、提言活動事業

(1)～(5)に限らず、まちづくりのNPOとして大阪のまちの魅力を再発見・開拓し多くの人と共有するために、各種情報提供や政策提言活動への参加などを積極的に展開した。

別冊天満人・天神祭へ「もうひとつの旅クラブ通信」を掲載

別冊天満人・天神祭へ4ページにわたり、発足以来の活動履歴やメンバー紹介などを掲載

- ・発行日：2007年7月15日
- ・発 行：天満人の会



駅からはじまるハイキング「ぶらり大阪まち歩き」へ

の参加

JR西日本が(社)日本ウォーキング協会、大阪府ウォーキング協会の協力を得て開催しているまち歩きプログラムへ参加し、大阪のまち歩きコースづくりの参考とした。

- ・実施日： 1月20日（土）大阪熊野古道コース
2月17日（土）暗越奈良街道コース
4月14日（土）天神橋筋商店街コース
5月26日（土）野田・福島コース

大阪川床プロジェクトチームの結成

NPO 水辺のまち再生プロジェクトと共同で「大阪川床」を実現させるべくプロジェクトチームを結成。大阪府、大阪市、水都 2009、水都ルネサンスなどとの協議を重ねる。

- ・打合せ等活動日： 2007 年 6 月 21 日(木)、6 月 28 日(木)、7 月 5 日(木)、7 月 31 日(火)、12 月 26 日(水)

各種委員会・審議会等への参加

中之島活性化実行委員会への参加

中之島地域の活性化を図ることを目的として、その実現達成に必要な事項を検討するために設置。水辺のまちづくり企画推進委員会の実行組織に位置づけられる。

- ・事務局：近畿運輸局、京阪電鉄
- ・実施日：2007 年 5 月 11 日(木)、6 月 15 日(金)、8 月 29 日(水)、12 月 7 日(金)
事務局会議：4 月 24 日(火)、6 月 7 日(木)、6 月 29 日(金) 中之島物語報告会 11 月 7 日(水)
- ・担当理事：岩田理事

水辺のまちづくり企画推進委員会への参加

市長や知事、経済界代表などで構成される花と緑・光と水懇話会のもと、水辺の魅力を最大限に活かしたまちづくりの方策を検討する委員会。当 NPO は 2007 年 11 月より新規参加。

- ・事務局：水都大阪 2009 実行委員会・実施日：2007 年 11 月 20 日(火)
- ・担当理事：泉理事長、岩田理事

川と都市をつなぐ研究会への参加

水都大阪 2009 準備室の呼びかけにより、水都大阪 2009 の実施計画策定過程において、八軒家浜、福島港等新たに設置される棧橋も含めて、川と都市をつなぐという視点で、舟運とまちの魅力との連携のあり方を探り提案することを目的とした任意の研究会。当 NPO では、一昨年の舟屋プロジェクトから一貫して、棧橋がまちの情報拠点となること、棧橋からのまち歩きメニューの開発、川床基地等を提案している。

- ・事務局：水都大阪 2009 準備室
- ・実施日：2007 年 3 月 2 日(金)、3 月 12 日(月)、3 月 27 日(火)、4 月 18 日(水)、5 月 21 日(月)、6 月 22 日(金)
- ・担当理事：泉理事長、根津副理事長

水都大阪 2009 市民参加準備会議への参加

水都大阪 2009 の実施にあたり、多様な価値観を持つ「市民＝個人」が集まって、市民参加プログラムのあり方、会期前の段階から市民が参加して共にイベントをつくりあげていくプロセス、進め方等を議論することを目的に開催された。

- ・事務局：水都大阪 2009 実行委員会
- ・実施日：2007 年 9 月 4 日(火)、9 月 17 日(月・祝)、9 月 29 日(土)、12 月 14 日(金)
- ・担当理事：泉理事長

大阪シティクルーズ推進協議会の設立準備支援

大阪の舟運ルート及び舟運事業商品の総称並びにネットワークの呼称として「大阪シティクルーズ」という新たな共通ブランドの推進組織設立に際して、組織規約素案、ロゴ・シンボルマーク募集コンペ要綱案、ホームページコンテンツ案の作成など準備支援を行った。

- ・事務局：設立準備期間は暫定（現在は大阪水上バス）
- ・実施日：2007 年 1 月 25 日(木)、2 月 15 日(木)、5 月 7 日(月)、5 月 17 日(木)、6 月 13 日(水)、6 月 18 日(月)、6 月 21 日(木)、6 月 27 日(水)、7 月 12 日(水)、7 月 19 日(木)、8 月 8 日(水)、8 月 9 日(木)、9 月 10 日(月)、9 月 13 日(木)、9 月 25 日(火)、10 月 3 日(水)、10 月 16 日(火)、10 月 25 日(木) 設立総会
- ・担当理事：泉理事長、根津副理事長

2. 旅クラブの組織活動(組織活動の充実と強化)と財源確保

(1) 組織活動、市民参加による事業推進

会員の拡大

会員については、2名の新規入会があった。

2007年度の会員数

- ・正会員 23名(前年度比2名増)
- ・賛助会員 0名(前年度比増減なし)

組織活動

運営委員会を月例で開催し、大阪まち遊学、ご来光カフェなどの事業の企画・実施方策等を協議した。また、企画調査業務など専門性が求められる事業においても会員間で広く諮りながら進めたが、受託先との会議やとりまとめ作業などが特定の会員に集中する傾向が本年も続いた。さらに、ホームページをリニューアルするとともに、理事長ワーク、事務局ワーク、会計ワークなどの効率的な連携と運営をめざし、幹部会員の体制についての議論を継続した。

総会(第5回)の開催

- ・開催日時: 2007年3月25日(日) 18:00~20:30
- ・会場: てんいちゆうゆうホール(大阪市北区天神橋)
- ・出席: 9名(書面出席7名) 欠席5名
- ・議案: 2006年度事業及び決算報告

2007年度計画及び予算、役員の改選、事務所の移転などの審議

事務局の移転

総会決議を経て、北区天神橋2丁目5番11号から中央区安堂寺町2丁目5番202号へ移転した。(4月4日)

理事会の開催

理事会は総会にともない3月25日(日)に6名参加(全理事出席)にて行われた。

運営委員会の開催

以下の通り、理事・会員混合型の運営委員会を開催し、各事業の企画・運営協議を行った。

- ・1月5日(金) 7名参加
- ・2月19日(月) 9名参加
- ・3月6日(火) 10名参加
- ・4月4日(水) 8名参加
- ・5月9日(水) 5名参加
- ・6月21日(木) 7名参加
- ・7月5日(木) 7名参加
- ・8月2日(木) 5名参加
- ・8月8日(水) 7名参加
- ・9月6日(木) 6名参加
- ・9月21日(金) 7名参加
- ・11月13日(火) 5名参加
- ・12月13日(木) 7名参加

ホームページの刷新

当NPOの社会的なプレゼンスも次第に向上しており、外部からの照会も増えることが考えられるため、懸案であったホームページのリニューアルを今期全面的に行った。



(2) 財源確保の充実と課題

2007年度の当NPOの主な収入源は、民間企業からの企画調査業務の委託費が大きなウエイトを占める。これらによりNPO運営の基盤となる経費を定常的にまかなうとともに、先行投資が必要と考えられるものについては、収入の範囲で研究開発費として積極的に資金投入して実施していく。今後とも財源確保の上では外部からの委託業務の受託は重要であるが、水都大阪2009への対応など、当NPOの将来像を見据えた戦略的な受託を図る必要がある。また、これまでの自主プログラムや大阪まち遊学など新規の自主プログラムについては、独立採算の原則に基づき、着実に実施していく。